

小城市総合計画の基本政策ごとに平成25年度の 主な特色ある事業をご紹介します

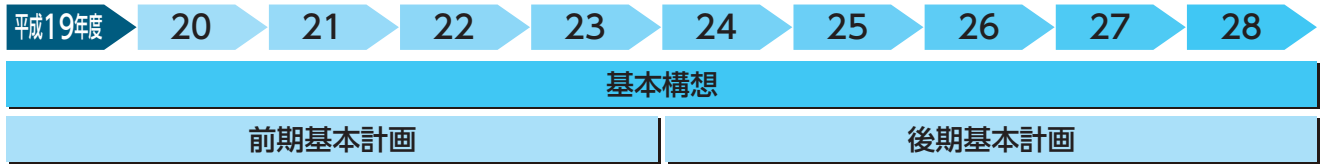


総合計画と施策の体系

総合計画

まちづくりの基本方針となる総合計画は、基本構想と基本計画で構成されています。

〈計画の構成〉



基本構想

基本構想は、まちづくりの理念や将来像と、それらを実現するための施策の大綱を示すもので、基本計画の基礎となるものです。計画期間は19年度から28年度までの10年間で。

基本計画

基本計画は、5年ごとに前期と後期に分かれ、基本構想に示した施策の大綱に基づき、具体的な施策展開の方向と達成すべき目標(指標)を定めたものです。

施策の体系

小城市の将来像を実現するための施策の体系は以下のとおりです。

まちづくりの基本理念	目指す将来像	政策 (目指すまち)	施策 (課題)
共生と自立	薫風新都 みんなのでつくる・笑顔あふれる小城市	1 県央に光る 交流拠点のまち	市街地の整備 道路・交通網の整備 など
		2 自然と共生する快適で 安全・安心なまち	消防・防災体制の充実 公園・緑地の整備 など
		3 健康・福祉日本一を 目指すまち	保健・医療の充実と健康づくり 生涯スポーツの充実 など
		4 子どもの笑顔が輝き 歴史と文化を誇れるまち	子育て支援の充実 幼児教育・学校教育の充実 など
		5 交流と連携による 質の高い元気産業のまち	農林業の振興 水産業の振興 商工業の振興と新産業の育成 など
		6 共につくる 新しいまち	自立した行政経営の確立 市民と行政との協働体制の確立 など
交流と連携			
個性と魅力			
参画と協働			

平成25年度 予算総額 202億1,540万円 (第2号補正後)

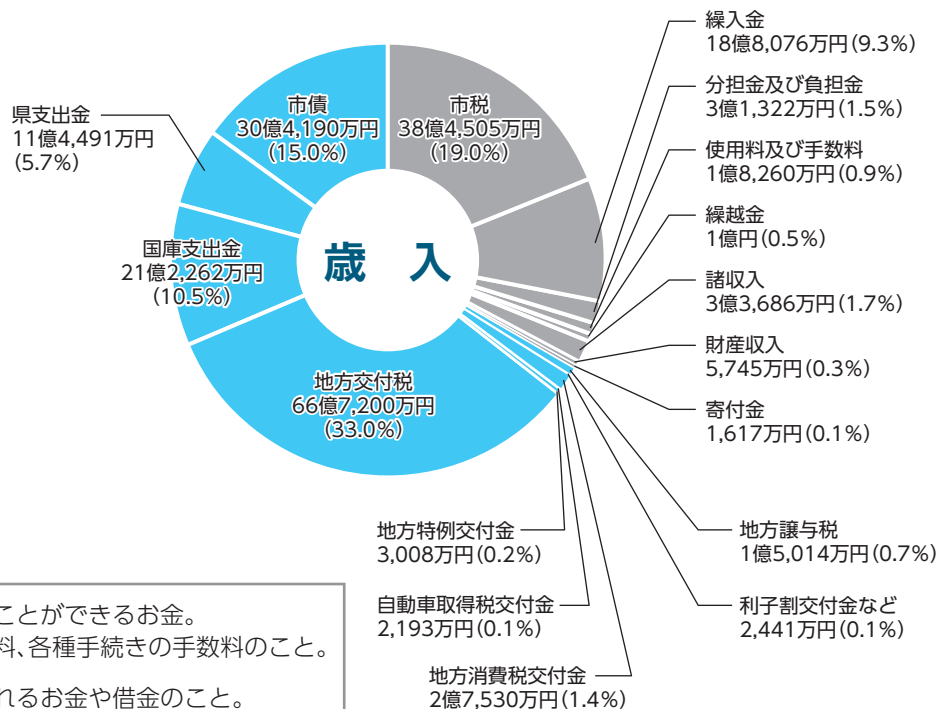
平成25年度当初予算は、3月に市長選挙を控えていたため骨格予算として編成し、6月定例会で政策的な経費を肉付け(補正)しました。

骨格予算…市長の改選を控えている場合、新年度の予算編成は新体制で行うという考えから、だれが市長になっても必ず予算化する必要のある扶助費や公債費などの義務的な経費を主体として、政策的経費や新規事業は極力盛り込まないで編成した予算

◆ 歳入 ◆

財政基盤を安定させ、市民のニーズに応じた自主性のある行政サービスを提供するためには、一般的に「自主財源」の割合が高いほど望ましいと考えられています。

収入総額202億1,540万円の内訳は「自主財源」が67億3,211万円で33.3%、「依存財源」が134億8,329万円が66.7%となっており、国や県からもらえるお金や借金に頼った収入構造といえます。

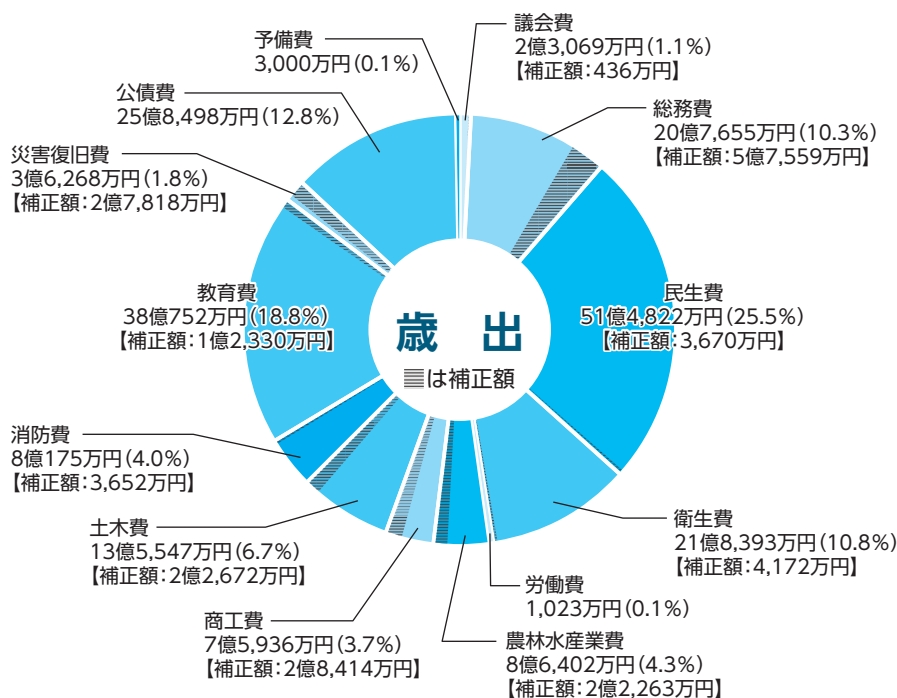


■ 自主財源…市が自ら徴収することができるお金。
市税や施設の使用料、各種手続きの手数料のこと。

■ 依存財源…国や県から交付されるお金や借金のこと。
地方交付税や補助金、市債など。

◆ 歳出 ◆

民生費（住民の生活と安定した社会生活を保障するための経費）、教育費（小、中学校、公民館事業などに関する経費）など、その目的によって区分した予算を「目的別予算」といいます。



◀ 今年度の主な事業を政策ごとにご紹介します。



県央に光る交流拠点のまち

主な取り組み 1

市街地整備のために

まちなか市民交流プラザ等整備事業

6,802万円

旧小城庁舎の場所に、「(仮称)まちなか市民交流プラザ」の整備を行います。

JR小城駅周辺環境整備事業

1億842万円

中心市街地の玄関口であるJR小城駅前広場のロータリー、駐輪場、駐車場、駅舎の改修を行います。



〈完成イメージ〉

交流人口を増加させるために

スマートインターチェンジ整備事業

6,866万円

長崎自動車道小城パーキングに「スマートインターチェンジ」を設置し、市外からの交流人口を増加させます。



〈写真は須恵スマートインターチェンジ〉



自然と共生する快適で安全・安心なまち

主な取り組み 2

公園・緑地を整備するために

小城公園高質化推進事業

1億3,789万円

景観に配慮して公園東側入り口や駐車場、公園道路、水路などを整備します。



〈現在の小城公園〉

消防・防災体制を充実させるために

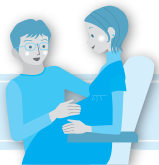
佐賀広域消防局小城消防署建設事業

6,190万円

老朽化した小城消防署を建て替えるための負担金です。



〈現在の小城消防署〉



健康・福祉日本一を目指すまち

主な取り組み 3



保健・医療の充実と健康づくりのために

妊婦安心風しん予防接種事業

397万円

先天性風しん症候群の発生を予防し、安心して妊娠や出産ができるよう取り組みます。

(自己負担)

- ・市内指定医療機関を受診 → 無料
- ・市外医療機関を受診 → 10,000円を上限として助成



子どもの笑顔が輝き歴史と文化を誇れるまち

主な取り組み 4

子育て支援の充実のために

子どもの医療費助成事業 1億1,512万円

子どもの医療費を助成します。

	現在	平成25年10月診療分から
小学校就学前	入院・通院・調剤	入院・通院・調剤
小・中学生	入院	入院・調剤

※詳細は、広報「さくら」9月5日号でお知らせします。

学校教育の充実のために

教育情報化推進事業 6億2,023万円

小中学校の教育でICT（パソコンや電子黒板など）を活用することで、グラフや資料を効果的に使い「授業の情報化」を推進し、授業改善、学力向上を目指します。また、「学校（校務）の情報化」で学校運営改善、校務負担軽減を図ります。

待機児童の解消のために

放課後児童クラブ建設事業 6,371万円

桜岡小学校と牛津小学校の敷地内に1棟ずつ建設します。

市内学校施設の耐震化率100%を目指して

芦刈小学校建設事業 12億9,844万円

老朽化した芦刈小学校の校舎と体育館、給食室を改築し、学習環境の充実を図ります。



〈平成25年2月完成の芦刈小・中学校体育館〉



交流と連携による質の高い元気産業のまち

主な取り組み 5

商店街を元気にするために

商店街元気づくり事業 1,300万円

小城町商店街（国の認定区域内）での出店や、空き店舗を改修し活用するための初期投資費用。また、賑わいづくりイベントなどの費用についても助成します。



〈チャレンジショップ〉

就農者を増やすために

青年就農給付金給付事業 1,275万円

就農するための技術習得や所得確保の課題などの負担を軽減し、青年就農者の増大を図ります。

水産業の振興のために

県営漁港機能高度化事業 1,125万円

台風などの荒天時に漁船を陸上に避難させる漁船保管施設を整備するための負担金です。



共につくる新しいまち

主な取り組み 6

納付機会を増やすために

コンビニ収納システム構築事業 685万円

コンビニで税金などを納付できるシステムを構築し、納付機会の拡大と利便性を高めます。

市民に開かれた市議会を目指して

議会放映システム構築事業 436万円

議会のインターネット配信やケーブルテレビ放映を行います。